

# 高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部助成

健康福祉課健康係【☎028 (677) 6042】

平成23年の人口動態統計で、肺炎は日本人の死因の第3位となりました。肺炎で一番多い病原菌は「肺炎球菌」で、全体の25～40%を占めています。肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し、重症化を防ぐためのワクチンです。1回接種すれば、健康な人では少なくとも5年間は効果が持続するとされています。ただし、すべての肺炎を予防するものではありません。

日本人の死因(平成23年)

1位	がん
2位	心疾患
3位	肺炎

肺炎球菌ワクチン予防接種は、接種を受ける義務はなく、希望する人のみが受ける予防接種です。接種を希望する場合は、かかりつけ医に相談の上、ワクチンの効果と副反応について十分理解し、接種を受けてください。

- 対象者／65歳以上の人  
(接種を1回受けたことがある人は、接種日から5年以上経過している場合に対象となります)
- 助成額／接種費用の一部として**3,500円**を助成(生活保護世帯の人には全額を助成)
- 申込方法／接種を受ける前に、印鑑を持参の上、健康福祉課窓口で申請し助成券の交付を受けてください。(接種を受けた後の申請では、助成できませんのでご注意ください)
- 費用負担／
  - ・契約医療機関(和久医院・芳賀中央クリニック・金子内科クリニック・松谷内科胃腸科クリニック)で受ける場合…医療機関窓口で、接種料金から助成金3,500円を差し引いた額を支払ってください。
  - ・契約医療機関以外で受ける場合…医療機関窓口でいったん接種料金を全額支払い、健康福祉課窓口へ助成金請求書・接種時の領収書・予診票(コピー可)を提出してください。

## インフルエンザは予防が肝心です!

- ・こまめに手洗い・うがいをしましょう。
- ・外出するときはマスクを着け、人ごみを避けましょう。
- ・部屋の換気や加湿を心がけましょう。
- ・十分な睡眠と栄養をとり、規則正しい生活を送りましょう。



## インフルエンザと肺炎

インフルエンザが原因で肺炎になることもあります。インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの両方を接種すると、より効果的に肺炎を予防できるといわれています。両方のワクチンの接種を希望する場合は、

それぞれは6日以上の間隔をあけてワクチンを接種してください。  
(例：月曜日にインフルエンザの予防接種を受けた場合、翌週の月曜日以降に肺炎球菌の予防接種を受けるようにしてください)

# 高齢者インフルエンザ予防接種費用の助成

健康福祉課健康係【☎028 (677) 6042】

インフルエンザは、通常初冬から春先にかけて毎年流行します。ワクチンが十分な効果を維持する期間は、接種後約2週間後から約5カ月とされています。予防接種の有効性を高めるためには、10月から12月中旬までの間に接種を受けるとよいでしょう。

インフルエンザの予防接種は、個人の発病と重症化防止を目的としています。そこで町では、接種を受ける人に費用の助成を行なっています。ただし、接種を受ける義務はありませんので、希望する人のみ接種を受けてください。

- 対象者／①65歳以上の人  
②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓または呼吸器の重い障害により、身体障害者手帳を持っている人
- 助成額／1人1回**3,600円**  
(2回接種する場合、2回目は全額自己負担となります)
- 実施期間／10月1日～平成25年2月28日
- 申込方法／医療機関へ直接お申し込みください。
- 持参物／健康保険証、健康手帳(持っている人のみ)
- 予診票／各医療機関および健康福祉課窓口にあります。
- 費用負担一覧

地域	医療機関	費用負担
芳賀郡市	芳賀町・真岡市・市貝町・益子町・茂木町の医療機関	無料(3,600円助成)
宇都宮市	天目外科胃腸科 宇都宮東部クリニック 篠崎内科クリニック 齋藤内科クリニック ミヤ健康クリニック 清原台整形外科 村田整形外科医院	無料(3,600円助成)
高根沢町	高根沢中央病院 菅又病院	差額(600円)のみ支払ってください。 (3,600円を超えた分は自己負担となります)
上記以外の医療機関		医療機関窓口で、接種料金をいったん全額支払ってください。後日、次の4つを健康福祉課窓口で持参し手続きをすると、3,600円を上限として助成を受けられます。 { <ul style="list-style-type: none"> <li>・接種時の領収書(インフルエンザ予防接種との記載のあるもの)</li> <li>・予診票(コピー可)</li> <li>・本人の口座番号がわかるもの</li> <li>・印鑑</li> </ul> ※手続き期限 平成25年3月31日